

J Aバンク埼玉における地域密着型金融の取組状況（平成30年度）

J Aバンク埼玉（埼玉県下15JAと埼玉県信用農業協同組合連合会（以下、「信連」という。））では、農業と地域社会に貢献するため、平成28～30年度J Aバンク埼玉中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成30年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援 (J Aバンク埼玉の農業メインバンク機能強化への取り組み)

J Aバンク埼玉は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取り組みを行っております。

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク埼玉は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしております。

平成31年3月末時点のJ Aバンク埼玉の農業関係資金残高^(注1)は13,971百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は6,418百万円を取り扱っております。

(注1) 農業関係資金とは、農業者及び農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) J Aバンク埼玉が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取り扱いを行っております。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】 (単位：百万円)

種類	平成31年3月末現在
農業	
穀作	2,693
野菜・園芸	5,082
果樹・樹園農業	610
工芸作物	384
養豚・肉牛・酪農	334
養鶏・鶏卵	168
養蚕	0
その他農業	4,698
農業関連団体等	0
合計	13,971

(注)

1 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれております。

2 「農業関連団体等」には、JAや全農(経済連)とその子会社等が含まれております。

【資金種類別農業資金残高】 (単位：百万円)

種類	平成31年3月末現在
プロパー資金	11,123
農業制度資金	2,848
うち農業近代化資金	2,341
うちその他制度資金	506
合計	13,971

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、農業制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的又は間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク埼玉が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としております。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

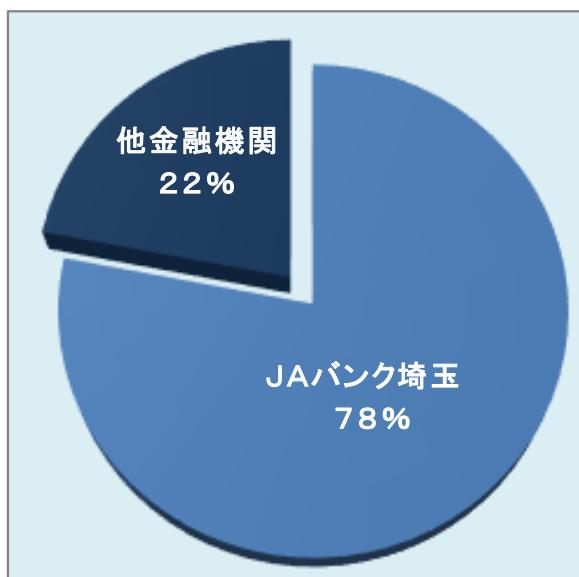
【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

種類	平成31年3月末現在
日本政策金融公庫資金	6,418
その他	0
合計	6,418

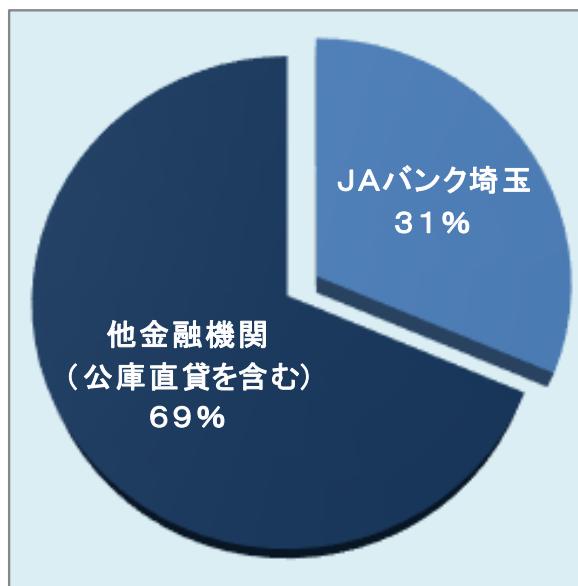
J Aバンク埼玉は、主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いにおいて、高いシェアを占めております。

【埼玉県の農業近代化資金及び公庫農業資金の残高シェア】

農業近代化資金
(平成30年12月末時点)



公庫農業資金
(平成31年3月末時点)



(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

J Aバンク埼玉では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでおります。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しております。

信連では、J Aのサポート・指導機能、農業法人等への融資相談を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めております。

なお、こうした活動を支える体制として、県内15JA及び信連の本店に、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を計28名配置しております（平成31年4月1日時点）。

また、農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的として、JA系統独自の農業融資資格制度「JAバンク農業金融プランナー」を導入しており、県内では700名が取得しております（平成31年3月末時点）。

なお、JAバンク埼玉では、信連ほか県域の各連合会が一体となり、共通機構である「担い手サポートセンター」を構築し、担い手への個別支援・事業提案等、事業部門を横断した総合的なサポートに取り組んでおります。

(3) JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しております。

【具体的取組事例】

〈農業資金相談会の開催〉

担い手への対応力強化及び農業資金のPRのため、JA・信連・日本政策金融公庫の共催により農業資金相談会を実施しました。

〈平成30年度相談会開催実績〉

JAさいたま：1日間、JAいるま野：2日間、JAくまがや：1日間、
JAふかや：2日間、JAほくさい：2日間、JA南彩：2日間

〈農業資金活用促進のための研修会の開催〉

融資担当者及び涉外担当者等を対象とした「農業融資担当者研修会」で農業担い手の方への適切な対応ができるよう、各農業資金の商品概要及び提案方法等、実務に関する研修会を実施し、実務能力の向上を図りました。

〈農業機械大展示会への参画〉

県内JA、全農埼玉県本部等が主催し、担い手農家等に対する生産資材コスト削減及び適正機械の導入・利用促進を図ることを目的とした「農機大展示会」を年2回開催しました。信連はこの展示会に協賛し、農業融資商品のPR及び借入相談を実施しました。

(4) 農商工連携の推進

J A バンク埼玉は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しております。

【平成 30 年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	総来場者数	内容
J A グループさいたま 農畜産物商談会 2018	平成 30 年 11 月 28 日	信連 全農さいたま	53	632	成約件数 31 件

〈 J A グループさいたま 農畜産物商談会 2018 〉



(5) 生産者と消費者をつなげる場の設置

県やJAグループ等からなる彩の国食と農林業の祭典実行委員会では、生産者と消費者をつなげる交流イベントとして、「2018彩の国食と農林業ドリームフェスタ」(平成30年11月17・18日、朝霞の森広場)を開催いたしました。

このイベントは、食と農林水産業をアピールするとともに、来場者・生産者の交流を図り、県内農林水産業への理解を深めていただくことを目的とした県民参加の催しであり、46,000人の方にご来場いただき好評を博しました。

なお、JAバンク埼玉は、祭典実行委員会の構成員として参画しております。

〈2018彩の国食と農林業ドリームフェスタ〉



2 担い手の育成・経営等に係る支援

JAバンク埼玉は、担い手をサポートするため、次の取り組みを行っております。

(1) 新規就農者の支援

JAバンク埼玉では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金などを取り扱っております。

【新規就農者をサポートする資金の取り扱い実績】 (単位：件、百万円)

種類	平成30年度 実行件数	平成30年度 実行金額	平成31年3月末 残高
青年等就農資金	43	286	587
就農支援資金	-	-	103
その他	-	-	-
合計	43	286	690

(2) 農業法人とのネットワーク拡大

J A バンク埼玉では、農業の成長産業化の後押し及び農業法人の育成のため、彩の国埼玉・農業法人協会、信連、農林中央金庫の共催にて「農業法人等経営支援研修会」を平成31年1月18日（金）に開催いたしました。

(3) J A バンク埼玉講演会・セミナー等の開催

J A バンク埼玉では、農業者等のお取引先様を招いた相続セミナーを開催しております。また、セミナー開催後には個別相談も実施しており、お取引先様の相談ニーズに適切な対応を図っております。

【講演会・セミナー開催実績】

講演会名	主催者	参加人数	個別相談会参加人数	講演内容
J A 相続セミナー	J A さいたま	24名	5名	講師 埼玉県信連契約FP 題目「相続への備えと遺言の必要性」
	J A いるま野	39名	10名	
	J A 埼玉中央	16名	2名	
	J A ちちぶ	-	1名	
	J A くまがや	15名	1名	
	J A ふかや	2名	2名	
	J A ほくさい	63名	1名	
	J A 越谷市	77名	-	
	J A さいかつ	77名	-	
合計	9JA	313名	22名	

(4) 被災者・生産資材高騰等への支援

J A バンク埼玉では、自然災害等が発生し、被災者の支援が必要となった場合には、災害対策窓口の設置や災害対策資金の創設、個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等の対応をしております。

（単位：件、百万円）

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
台風被害に対する自然災害復旧資金	J A いるま野	台風24号で農作物や農業用施設に被害を受けた方を対象に、復旧資金を無利子かつ保証料助成により対応。	6	6
合 計			6	6

(5) 経営不振農家の経営改善支援

J A バンク埼玉では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議等を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでおります。

【平成 30 年度の農業者の経営改善支援等の取り組み実績】

(単位:先)

		期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち再 生計画を策 定した先数 a	Aのうち期 末に債務者 区分がラン クアップし た先数 b	Aのうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった 先数 c	事業計画策 定期率 = a / A	ランクアッ プ率 = b / A
正常先①		2	0	2	0.0%		
要 注 意 先	うち	-	-	-	-	-	-
	その他要注意先②	-	-	-	-	-	-
	うち要管理先③	-	-	-	-	-	-
破綻懸念先④		3	3	0	3	100.0%	0.0%
実質破綻先⑤		1	1	0	1	100.0%	0.0%
破綻先⑥		-	-	-	-	-	-
小計(②～⑥の計)		4	4	0	4	100.0%	0.0%
合計		6	4	0	6	66.7%	0.0%

(注) 期初経営改善支援取組先及び債務者区分は平成 31 年 3 月末時点のものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供

J A バンク埼玉では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めております。

(1) 負債整理資金による軽減支援

J A バンク埼玉では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っております。

【平成 30 年度負債整理資金の貸出実績】

(単位 件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	平成 31 年 3 月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	0	0	0
畜産特別資金	0	0	0
その他	0	0	0
合計	0	0	0

- 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っております。
- 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っております。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J A バンク埼玉では、地域社会へ貢献するため、次の取り組みを行っております。

(1) J A バンク食農教育応援事業の展開

J A バンク埼玉は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J A バンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちのくらし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでおります。

教材「農業とわたしたちのくらし」は、J A バンクを通じて、県下の小学校へ、79, 319 セット配布され、学校の授業等において活用されております。また、特別支援学級を扱う小学校 8 校及び特別支援学校 9 校へ 860 セット配布いたしました（平成 30 年度実績）。

その他、県下 J A ・信連では、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでおります。

【J A バンク食農教育応援事業による活動内容】

J A 名	活動内容
J A さいたま	○各種農業体験学習の実施（稻作、畑作等） ○学校給食への食材提供 ○夏休みこども村の開催 ○親子サッカースクールの開催
J A あさか野	○食農教育の出前授業 ○各種農業体験学習の実施（稻作等） ○学校給食への食材提供 ○夏休みこども村の開催 ○ミニバスケットボール大会の開催 ○ハンドリフレクソロジー介護教室 ○親子料理教室の開催 ○農業体験付定期積金の募集
J A いるま野	○農業体験懸賞付定期積金の募集 ○各種農業体験の実施（稻作） ○学校給食への食材提供
J A 埼玉中央	○親子農業体験教室の実施（枝豆） ○コープみらい「たんぼの学校」の実施 ○夏休みこども村の開催
J A ちちぶ	○学校給食への食材提供 ○サッカー大会の開催 ○週末農業塾の開催
J A 埼玉ひびきの	○各種農業体験学習の実施（稻作、畑作等） ○小学校運動会・地域スポーツ大会への記念品贈呈 ○各種スポーツ大会の開催 ○食農教育の出前授業（稻作、野菜等）
J A ふかや	○各種農業体験学習の実施（稻作等） ○稻作田んぼアート

J A名	活動内容
J A 越谷市	○各種農業体験学習の実施（稻作、野菜等） ○学校給食への食材提供 ○地域運動会へのお米の贈呈 ○市内小学校へ横断旗及び「ちゃぐりん」贈呈
J A 南彩	○各種農業体験学習の実施（稻作、野菜等） ○夏休みこども村の開催
J A 埼玉みずほ	○各種農業体験学習の実施（稻作） ○夏休みこども村の開催 ○地元高校の学食への精米提供
J A さいかつ	○夏休みこども村の開催 ○管内小学校社会科学習・施設研修会 ○管内中学生職場体験学習 ○食農教育の出前授業（稻作、野菜）

(2) 埼玉県パパ・ママ応援ショップへの協賛

J Aバンク埼玉では、少子化対策として埼玉県が市町村・企業と連携して子育て家庭を応援する「パパ・ママ応援ショップ」事業に協賛し、子育て支援に取り組んでおります。

【パパ・ママ応援事業の活動内容】

J A名	具体的協賛活動内容
J A さいたま	○住宅ローンの金利軽減 ○定期積金の金利上乗せ
J A あさか野	○定期貯金・定期積金の金利上乗せ ○住宅・マイカーローンの金利軽減 ○こども共済契約者へ粗品贈呈 ○お米の割引
J A いるま野	○購買品の割引
J A 埼玉中央	○定期積金の金利上乗せ ○住宅ローンの金利軽減 ○お米の割引
J A ちちぶ	○住宅ローンの金利軽減
J A 埼玉ひびきの	○定期貯金・定期積金の金利上乗せ ○住宅・マイカー・教育・リフォームローンの金利軽減 ○お米の割引
J A くまがや	○マイカー・住宅ローンの金利軽減 ○定期積金の金利上乗せ
J A ふかや	○住宅ローンの金利軽減
J A ほくさい	○住宅ローンの金利軽減 ○玄米の割引
J A 越谷市	○住宅・マイカーローンの金利軽減

J A名	具体的協賛活動内容
J A 南 彩	○住宅・マイカーローン等の金利軽減
J A 埼玉みづほ	○住宅ローンの金利軽減
J A さいかつ	○定期積金の金利上乗せ ○住宅・小口ローンの金利軽減
埼 玉 県 信 連	○定期貯金・定期積金の金利上乗せ

〈パパ・ママ応援ショップ〉



(3) 環境保全活動

信連は、公益社団法人埼玉県農林公社と協働し、埼玉県農林公園の清掃活動を行いました。掃き集めた落ち葉は堆肥にされ、園内の畑で利用されます。

また、水源地の保全や地球温暖化防止などに貢献するため、間伐等の森林整備作業を行うとともに、森林整備に係る活動費の一部を助成しています。

これにより平成30年度は、CO₂吸收量32.4t／年の認証を取得いたしました。

〈埼玉県農林公園の清掃活動〉



<JAバンク埼玉県信連の森づくり活動>



埼玉県森林CO₂吸收量認証書

埼玉県森林CO₂吸收量認証書

埼玉県信用農業組合連合会
代表理事理事長 松本 傑一 様

平成30年度に貴組合が森林整備活動を行った森林のCO₂吸収量について、
次のとおり認証します。

CO₂吸収量 32.4 t-CO₂/年

認 定 の 日 付 年 月 日	又澤森林整備工事小笠字猪生原地内 北父老字猪野町大字二井字宮ノ入地内 北父老字猪野町大字二井字芳久保地内
森林の種類	22-24年生 ヒノキ林
森林の面積	3.2ヘクタール

認証書交付日から平成31年3月31日まで
認証する種類は、人間の呼吸によるCO₂吸収量に相当する。
この認証書は、申請者の社会貢献活動の証として、埼玉県が認定した森林のCO₂吸収量として、広報活動等が実めた使用に利用することができます。

平成31年3月6日



埼玉県知事 上田 清司



以上